

監 査 報 告 書

2019年5月24日

社会福祉法人新川中原保育会
理事長 長澤 正雄 殿

監事 中西純子



監事 大西 勲



私たち監事は、2018年4月1日から2019年3月31日までの、2018年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員などからその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

① 事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2018 年度（平成 30 年度）内部監査を行って

2019 年 6 月 5 日 大西勲

今回は、有期契約職員（非常勤）の状況を中心に、前年度指摘事項の確認と決算報告書及び会計書類の監査を、5 月 22 日から 24 日まで 3 日間行いました。本部、3 園各施設とも会計処理は適切に行われており、前年度指摘事項もそれぞれに対応していました。

時間がたっぷりあったことから、書類をゆっくり見ることが出来ました。多少細かいことになりましたが、いくつか気になった点を記します。

1. 有期契約職員の状況について

各施設の状況により、雇用形態は多種多様です。一時保育、子育て支援事業、保育、給食、用務、登降園時の交通整理などの業務に、常勤、非常勤、パートタイムで、固定給、昇給、時給、手当等、業務内容、労働条件や処遇についても様々です。

3 園とも大勢の有期職員がいますが、懇談会を行ったり、職員と一緒に懇親会を設けたり、大切な人材として就業規則にのっとり対応されていて、多くの人が契約の更新を行っています。

ただ「雇い入れ通知書」の一部に単純な誤りがありました。複数で点検しているとのことでしたが、大人数で多様な雇用形態でもあり、システム化するなどの工夫も必要かと思いました。

有給の取得状況は各施設で違いがあり、世田谷は、実質買取りをして全て消化するようにしていました。今年のように 10 連休もあると収入が減り、生活に影響も出てきます。各施設の状況に合わせて、検討したらどうでしょうか。

2. 稟議書について

書式がばらばらだったので、世田谷の書式で統一したらどうでしょうか。

基準として 10 万以上、100 万未満というのは確認されていますが、内容面では未確認です。単品で 10 万以下のものが複数ある場合ははじくとして、固定資産になるもの、会計担当者が必要としたものを、当面基準にしたらどうでしょうか。

3. 健康診断について

各個人が受けていて、費用が 1 万円から 4 千円と医療機関によって差があります。前年度成城で検診車を呼んで一部の人が受けましたが、費用面や体制面などを考慮して、検診車での健康診断を検討してはどうでしょうか。

また、産業医についても引き続き検討していただきたいと思います。

4. 徴収不能金について

延長保育や一時保育などで、数年に渡って徴収できない利用料については、理事会での承認を得て、徴収不能金として処理したら良いと思います。

以上

5月15日から21日まで、特に保育内容中心に監査をいたしました。

- ・世田谷つくしんぼ保育園 5月15日(水)・成城つくしんぼ保育園 5月17日(金)・みたかつつくしんぼ保育園 5月21日(火) 不足分 24日(金) に行う。

昨年同様、3園の保育内容は充実したものになっていました。

職員の資質向上のための研修、話し合いなど運営部を中心として、忙しい中でも時間を取り、努力されている事が良くわかりました。

「未来を担う子どもたちに、よりよい保育を」

「地域の住民によって生まれた保育園、保護者とともにつくる保育園」などの理念を中心に据え、職員一丸となって取り組まれていました。

大西監事が全体を詳しく監査されているので、下記の点を重点に見ました。

- ・職員会議録／事故簿【ヒヤリハット】／研修記録／防災関係書類
- ・保護者関係【連絡帳など】苦情ふくむ／地域住民の苦情／日誌関係(保健日誌含む)／給食関係(検食をしました、メニューが充実しているかどうか)
- ・保育室の落下物危険個所の点検・給食室の衛生管理状況など・遊具の充実状況などです。

どの園も「こどもたちによりよいものを」という視点で考え、実践されていました。そのような中で、特に感じたことは、事故簿の所で口、歯の事故が多く、転んでも手が出ないという実態が見えてきました。

みたかつつくしんぼでは、こどもの実態を案じて体操を取り入れたが、それが功をなして事故が少なくなったと園長、副園長から報告がありました。

また、度々、事故が起こるクラスは職員間の連携や信頼関係などが深く関係していることでした。こどもの置き去りなどがその典型でした。ヒヤリハットで少しの事案でも細かく記入され、チェックされていた事もあるのですが、子どもの移動時に職員間の声かけや状況判断で連携を取り合うなど、改善はされていました。

また、落下物危険個所、睡眠時のこどもの顔色が確認できる部屋の明るさの確保など確認しました。

その結果、重大な問題はなかったことを報告致します。

今後とも「子どもの最善の利益」を堅持し、職員間の連携を重視し、日常の保育の充実に励まれることを期待いたします。